

令和5年
6月1日号
広報
No.718

あきる野

今号の主な記事など

- 特定健康診査を受けましょう… 3面
- 大島・子ども体験塾参加者募集… 3面
- 第14回あきる野市消防団消防操法大会… 4面



近年、集中豪雨や台風などで洪水や土砂災害などが全国で発生しています。いざというとき、落ち着いて行動できるよう、日ごろから危険箇所や避難行動について確認しておきましょう。

問合せ 地域防災課防災係

○住んでいる地域の危険箇所の把握

土砂災害警戒区域や浸水想定区域は、市が配布しているハザードマップや市ホームページでも確認することができます。お住まいが避難行動を必要とする区域にあるか、事前に確認しましょう。

○避難行動とは

「避難行動」は、数分から数時間後に起こるかもしれない自然災害から「命を守るための行動」で、次の行動が避難行動となります。

- 指定緊急避難場所などへの移動（立ち退き避難）
- 近隣のより安全な場所・建物などへの移動（立ち退き避難）
- 建物内の安全な部屋（2階など）への移動（屋内安全確保）

避難情報警戒レベル

警戒レベル		
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保
～警戒レベル4までに必ず避難！～		
4	災害のおそれ高い	避難指示
3	災害のおそれあり	高齢者等避難
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)

内閣府(防災担当)・消防庁「新たな避難情報に関するポスター・チラシ」より引用

いつ起こるか分からない地震災害にも備えましょう！

近頃、日本の広い範囲で震度5弱以上の地震が発生しています。いつ発生するか分からない地震から、どのように自分の命を守るのかを考え、準備しておきましょう。

地震に対する事前の備え

○火災防止対策をしよう

地震による火災の防止対策も重要です。また、設定値以上の地震の揺れを感知して自動的に電気の供給を遮断する感震ブレーカーを設置することで通電火災を防ぐこともできます。

○家具類の転倒・落下・移動防止対策をしよう

地震による負傷の原因は、家具類の転倒・落下・移動によるものが多くなっています。棚やタンス等を固定したり、ものを置かない安全なスペースを確保するなど対策を取りましょう。また、ガラス扉には飛散防止フィルムを貼りましょう。

2面へつづく